

ICP2016 広報委員会から

いよいよICP2016も来年になりました。ICPとは国際心理学会議（International Congress of Psychology）のことで、4年おきに世界のどこかで開催されております。前回の大会（2012年）は、南アフリカのケープタウンで行われました。来年は31回目の大会となるのですが、日本で開催されます。会場はパシフィコ横浜（神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1）です。会期は2016年7月24日（日）～29日（金）となっております。

ちなみに、来年の日本心理学会大会につきましては、ICP2016と合同となります。会場・会

期とも同一です。ICPは国際学会のため言語は英語が標準ではありますが、日本語でも発表いただけます。ただし、発表申し込み時には、アブストラクト（タイトル、著者名、所属等を含む）を英語で提出していただくことになっております。

ICP2016のホームページはこちらです（<http://www.icp2016.jp/>）。Facebookにも公式ページがございます（<https://www.facebook.com/ICP2016>）。これからだんだんとコンテンツが増えてまいります。どうぞご注目ください。

（ICP2016広報委員会副委員長 北岡明佳）



写真 ICP2016の会場（パシフィコ横浜）と会場付近の風景

日本心理学会 若手の会から

昨年度大会での「若手の会」発足式から早1年。この1年間、運営委員一同が一丸となり、どうすれば年次大会で若手に役立つ企画を打ち出せるかと、議論に議論を重ねてきました。今回は、会の目的である若手会員相互の交流促進と、幅広い分野の研究・教育・応用の融合を目指して行った、本年度大会での三つの活動報告です。

一つめは、学会前日に開かれる会員集会への若手参加の周知です。参加してみたいと思っても一人で参加するのは心細いと感じる若手もいるのではと考え、「みんなで参加しましょう！」と周知し、名札に若手の印をつけ話しかけやすい雰囲気を作ることで、若手の参加促進を行いました。その結果、12名程の若手の会会員が集会に参加し、交流を深めました。

二つめは、ランチを食べながら自由に討議するラウンドテーブル・ディスカッションです。さまざまな専門分野の大学院生、ポスドク、大学教員などの23名が参加しました。大きな関心が

寄せられたのが、キャリアのこと。ポスドクからのキャリアアップ、海外留学や非常勤講師の経験、研究費等、幅広い議論が交わされました。

三つめは、日本心理学会企画として開催されたシンポジウム「若手研究者を取り巻く現状と課題：社会とのつながりとキャリア形成のヒント」です。研究、教育、応用の現場にいる運営委員3名からの話題提供に、日本学術会議若手アカデミー委員会若手研究者ネットワーク検討分科会委員長を務められた蒲池みゆき先生（若手の会オブザーバーでもあります）を指定討論者としてお迎えしての、濃い2時間でした。

「若手のために」をモットーに頑張ってきた大会企画準備でしたが、参加してくださった方々から逆にパワーをもらいました。大会が無事に終わりホッとしたのも、つかの間。すでに新しい企画案も立てています。これを今まさに読んでくださっている若手の皆さんにも、会の活動にぜひ積極的に参加していただけると嬉しいです！

（若手の会共同世話人 小川健二・鈴木華子）